

埼玉盲交通安全の日通信

No. 2

埼玉県立特別支援学校

塙保己一学園

生徒指導部・自立活動委員会

令和4年5月2日

《危険度チェック編》

ご自身の危険度をチェックしてみましょう。いくつあてはまるでしょうか？

はじめに、全盲の方、弱視の方、共通のものです。

- (1)歩きスマホをしたり、イヤホンで音楽を聴きながら歩いたりすることがある。
- (2)落とさないようにするために、白杖の柄についているヒモを手に通している。
- (3)点字ブロックに人が立っていたらぶつからないようによけて通る。
- (4)道に迷った時も、人にきくより自分で探って解決したい。
- (5)電車やバスが予定通りに来ないとイライラする。
- (6)速く歩くのが好きで、歩くスピードが同年代の人に比べて速いといわれる。
- (7)何かしている途中でボーっとしたり別の考え事をしてしまったりすることがある。
- (8)何か落としてしまう、急に呼び止められるなど、不意に予想していなかったことがあると、ドキドキする。

次は、全盲や特に視野の狭い人にとってのものです。

- (9)駅の中では白杖を大きく振らない。
- (10)混雑が嫌いなので、電車に乗るときはなるべく階段から遠い所に乗る。

解説

(1)歩きスマホなどについてです。これは、一般的にも危険ですね。周囲の音が聞こえなかったり、注意が電話の向こう側へ行ってしまったりするので、身近な危険を察知できません。携帯を使うときは、余裕のあるとき、止まって行うようにしてください。

(2)白杖の柄についているヒモを手に通していると、白杖が何かに引っかかってしまっ

た時、手からはずれないとかえって危険です。白杖だけが電車のドアに挟まったり、自転車の車輪に絡んだりした人がいます。そんな時、手から外れなかったら…怖いですね。白杖についているヒモには手を通しておかないようにしてください。このヒモは、歩いている時ではなく、止まって両手を使いたいときに使います。

「(3)点字ブロックに人が立っていたら、ぶつからないようによけて通る。」

よけることで、点字ブロックから外れて方向を見失ってしまつては危険です。ホーム上では絶対にしないでください。

「(4)道に迷った時も、人にきくより自分で探って解決したい。」:こういう人は、多いのではと思います。安全なところでは、自分で探して見つけるのはよいですが、ホーム上や階段の近くなど、危険のあるところでは、遠慮せずに人に聞いたり頼んだりしましょう。人に聞くのが苦手な人は、声をかけてもらいやすい工夫をすることも一つです。

「(5)電車やバスが予定通りに来ないとイライラする。」

(6)速く歩くのが好きで、歩くスピードが同年代の人に比べて速いといわれる、

(7)何かしている途中でボーっとしたり別の考え事をしてしまったりすることがある。

(8)何か落としてしまう、急に呼び止められるなど、不意に予想していなかったことがあるとドキドキする。」

これらは、性格的なものでした。自分の性格や行動の特徴を理解し、急ぎがち、慌てがちな人は、落ち着いてゆっくりと心がけ、安全に歩けるよう対策を取っておきましょう。

次は、全盲の方や視野の狭い方、低視力の方についてです。

「(9)駅の中では白杖を大きく振らない。」

駅の中でも、ホーム以外では、混雑時には白杖をあまり振らずに人についていく、など考えられますが、ホーム上では足元の確認は必ずしてください。

「(10)混雑が嫌いなので、電車に乗るときはなるべく階段から遠い所に乗る」

ホーム上では歩く距離が長ければ長いほど、危険があり、ストレスにもなるので、なるべく歩く距離が短くて済むようにするとよいです。乗る駅、降りる駅の状況により、わかりやすく安全に待機できるところで乗るようにします。